

第16回 定時社員総会

開催日 2026年6月30日

場 所 ステーションコンファレンス万世橋

一般社団法人 日本鉄道運転協会

第16回 定時社員総会次第

1. 開 会
2. 総会成立報告
3. 会 長 挨 拶
4. 来 賓 挨 拶
5. 議 事
 - (1) 議長選出
 - (2) 議案
 - ア 報告事項
 - 報告1 2025年度事業報告
 - 報告2 2026年度事業計画及び予算
 - イ 決議事項
 - 第1号議案 2025年度決算の承認に関する件
 - 第2号議案 理事及び監事の選任に関する件
 - (3) 議長退任
6. 閉 会

報告 1 2025年度事業報告

事業報告

I 概況

2025年度は、各種講習会は募集定員を上回る参加者を受け入れました。運転業務研究発表会も含めて、意見交換会では会員間の交流にも重点を置きました。また、海外鉄道視察団は欧州の物価高と円安の影響を受け参加費が増加しましたが、多くの会社の参加により充実した調査が行われました。さらに、各種委員会、各支部総会および関東部会は計画通り全て実施したほか、試乗会は例年に比べて多くの参加者が集まりました。

受託調査研究として、動力車操縦者運転免許制度のあり方に関しては鉄道事業者の意向を調査し、制度の見直しに向けた検討会を開催しました。また、動力車操縦者の身体検査では、聴力の基準に対応する補聴器に係る検査方法及び評価上の注意等について調査検討を行いました。さらに、動力車操縦者の身体検査時の産業医のための身体検査マニュアルを整理して、国土交通省に報告しました。

特定技能制度、育成就労制度への対応として、特定技能1号評価試験を初めて実施したほか、外国人が段階的に技能を身につけながら働くことを目的とした育成就労制度についてもプレテストを実施するなど準備を進めました。

II 会務関係

会務活動については、2025年6月27日に第15回定時社員総会、第15回評議委員会及び第57回、第58回理事会を、11月21日に第59回理事会、第30回支部長会議を開催した他、2026年3月6日に第60回理事会を開催して業務執行体制の更なる定着を図ってきた。

また、第19回運営委員会を2024年8月18日に開催したほか、各種委員会等についても、ほぼ計画通り実施することができた。

1 第15回定時社員総会

2025年6月27日 13時30分から、第15回定時社員総会をステーションコンファレンス万世橋（秋葉原）404会議室において開催した。会員総数22,543名中、出席者76名、委任状20,020名、合計20,096名（正会員及び法人会員総数の89.1%）にて定款第18条に基づく「過半数」を満たして成立し、次の議案を審議し、それぞれ承認、可決された。

(1) 報告事項

- ・2024年度事業報告
- ・2025年度事業計画及び収支予算について

(2) 決議事項

- 第1号議案 2024年度決算の承認に関する件
- 第2号議案 定款の改定に関する件
- 第3号議案 理事及び監事の選任に関する件

2 第15回評議委員会 ステーションコンファレンス万世橋

2025年6月27日 12時30分から開催し、次の案件を審議承認した。

- 議案 理事の候補者に関する件
- 報告事項 評議委員会委員
- その他 総会附議事項の説明を行った。

3 理事会

(1) 第57回理事会 ステーションコンファレンス万世橋

2025年6月27日 12時45分から開催し、次の議案の審議及び可決を行ったほか、報告事項の承認を行った。

決議事項

- 第1号議案 2024年度事業報告について
- 第2号議案 2024年度決算及び監査報告に関する件
- 第3号議案 第15回定時社員総会への附議事項に関する件

ア 報告事項

- ・ 2024年度事業報告
- ・ 2025年度事業計画及び予算

イ 決議事項

- ・ 2024年度決算の承認に関する件
- ・ 定款の改正に関する件
- ・ 理事及び監事の選任に関する件

- (2) 第58回理事会 ステーションコンファレンス万世橋 304会議室
2025年6月27日 14時30分から開催し、次の議案の審議及び可決を行った。

決議事項

- 第1号議案 会長選定の件
- 第2号議案 副会長、専務理事及び代表理事選定の件
- 第3号議案 執行理事選定の件
- 第4号議案 名誉会長選任の件
- 第5号議案 顧問選任の件
- 第6号議案 運営委員会委員の選任・承認に関する件
- 第7号議案 執行理事の辞任に伴う退職慰労金支給の承認に関する件

- (3) 第59回理事会 ステーションコンファレンス万世橋 405会議室
2025年11月21日 16時00分から開催し、次の議案の審議及び報告を行った。

決議事項

- 第1号議案 2025年度表彰に関する件
2025年度運転功労者表彰者、協会功績者褒賞及び運転協会誌優秀作品
表彰者の決定について

報告事項

- ・ 2025年度上半期決算報告について
- ・ 東記念賞選考委員会の選考結果について
- ・ 2025年度の運転業務研究発表会の結果について
- ・ 運輸業務管理ゼミナールの開催について
- ・ 会員状況について
- ・ 会務報告と今後の予定

- (4) 第60回理事会 喜山倶楽部
2026年3月6日 16時00分から開催し、次の議案の審議及び報告を行った。

決議事項

- 第1号議案 2025年度事業計画(案)及び予算(案)に関する件
- 第2号議案 第15回定時社員総会招集の件及び同社員総会に附議する議案に関する件

報告事項

- ・ 2025年度決算見込みについて
- ・ 2026年度の主要会務予定について
- ・ 会員状況について
- ・ 運転設備研修講座の開催について
- ・ 運転理論(運転曲線)講習会の開催について
- ・ 運転法規研修講座の開催について
- ・ 研修・講習会のご案内

4 運営委員会

- 第19回運営委員会 喜山倶楽部
2025年 8月18日 16時00分から開催し、次の案件の報告・審議を行った。

会務報告

- ・ 2025年度の会務経過と今後の予定
- ・ 会員状況について
- ・ 運転理論講習会開催について
- ・ 運転法規研修講座開催について
- ・ 運転関係指導者講習会開催について
- ・ 2025年度（第46回）運転業務研究会発表会について

審議事項

- ・ 2025年度 運転功労者表彰の支部別割当数について

- 5 第30回支部長会議 ステーションコンファレンス万世橋 406会議室
2025年11月21日 14時30分から開催し、次の案件の報告等を行った。
- ・ 支部別等会員数
 - ・ 支部別・事業者別正会員数
 - ・ 支部別・運輸局別法人会員数
 - ・ 支部会員数の各年度月別推移
 - ・ 日本鉄道運転協会経理状況推移
 - ・ 支部活動状況
- 6 東記念賞選考委員会 ステーションコンファレンス万世橋 406会議室
2025年11月21日 15時30分から開催し、候補案件を審議した。
その結果、下記案件に決定した。
- ・ 駅前大橋ルート整備について（広島電鉄株式会社）

7 企画委員会

- (1) 第311回開催 JR九州鹿児島支社会議室
2025年5月22日（木）に開催し、次の案件の報告と審議を行った。
- ・ 事業経過と今後の予定について
 - ・ 正会員数について
 - ・ 運転理論（運転曲線）講習会の開催について
 - ・ 運転業務研究発表会の開催について
 - ・ 各社局の情報連絡について
 - ・ その他
- (2) 第312回開催 横浜開港記念館一号室
2025年7月17日（木）に開催し、次の案件の報告と審議を行った。
- ・ 事業経過と今後の予定について
 - ・ 正会員数について
 - ・ 運転法規研修会の開催について
 - ・ 運転関係指導者講習会の開催について
 - ・ 東記念賞の推薦について
 - ・ 各社局の情報連絡について
 - ・ その他
- (3) 第313回開催 ホテルアベスト札幌会議室
2025年9月18日（木）に開催し、次の案件の報告と審議を行った。
- ・ 事業経過と今後の予定について
 - ・ 正会員数について
 - ・ 運転功労者表彰の支部別割当について
 - ・ 運転関係指導者講習会について
 - ・ 運転業務研究発表会について
 - ・ 東記念賞業績候補への申請について
 - ・ 運転協会の功績者褒賞の推薦について

- ・各社局の情報連絡について
 - ・その他
- (4) 第314回開催 地下鉄博物館 館内会議室
2025年11月12日(水)に開催し、次の案件の報告と審議を行った。
- ・事業経過と今後の予定について
 - ・正会員数について
 - ・運転業務研究発表会について
 - ・運輸業務管理ゼミナールについて
 - ・東記念賞業績候補への申請(案)について
 - ・2025年度運転協会誌の優秀論文会長賞候補作品、優秀論文賞候補作品、優秀エッセイ賞候補作品、佳作賞候補作品について
 - ・各社局の情報連絡について
 - ・その他
- (5) 第315回開催 東急電鉄株式会社 鉄道研修センター
2026年1月15日(木)に開催し、次の案件の報告と審議を行った。
- ・事業経過と今後の予定について
 - ・正会員数について
 - ・運転協会創立67周年記念式典での2025年度各賞の表彰について
 - ・運輸業務管理ゼミナールについて
 - ・各社局の情報連絡について
 - ・その他
- (6) 第316回開催 西日本旅客鉄道株式会社 中国統括本部会議室
2026年3月5日(木)に開催し、次の案件の報告と審議を行う。(予定)
- ・事業経過と今後の予定について
 - ・正会員数について
 - ・第66回海外鉄道視察団の派遣について
 - ・2026年度運転設備研修講座について
 - ・2025年度決算見込み及び2026年度予算案について
 - ・2026年度日本鉄道運転協会事業計画(案)について
 - ・2026年度運転協会主催研修会・講習会について
 - ・各社局の情報連絡について
 - ・その他

8 運転管理研究委員会

- (1) 第29回開催 喜山倶楽部 光琳の間
2025年5月8日(水)に開催し、次の案件の審議を行った。
- ・「運輸職における労働力不足への対応、人材確保に向けた取り組みについて」調査結果報告、質疑
 - ・次回検討希望テーマ(課題)について
 - ・各社局の情報連絡について
 - ・その他
- (2) 第30回開催 四国旅客鉄道株式会社 本社会議室
2025年11月27日(木)に開催し、次の案件の審議を行った。
- ・「運輸職における労働力不足への対応、高効率な業務運営に資する取り組みについて」調査結果の報告、質疑
 - ・委員長、副委員長の改選(選出)について
 - ・2025年度の委員長、副委員長(2名)の改選(選出)について
 - 委員長：野中 俊昭(小田急電鉄株) ⇒村上 潤(東急電鉄株)
 - 副委員長：熊本 大誉(東日本旅客鉄道株) ⇒有本 政弘(東海旅客鉄道株)
 - 副委員長：彌永 高則(福岡市交通局) ⇒本間 篤史(札幌市交通局)
 - ・各社局の情報連絡について

9 安全情報委員会

2025年度は特に課題となる案件がなかったことから、委員会は開催しなかった。なお、A情報、B情報ともに情報提供はなかった。

10 運転協会誌編集委員会

2025年度は、6月5日に札幌、9月12日に大阪、11月6日に福岡で開催した他、上記を除く毎月上旬に東京地区において開催し、その都度運転協会誌の編集計画を審議して決定した。

11 運転協会事務担当者打合会議

運転協会の事業・支部活動・会員状況の対策ため、全国事務担当者会議を前期6月12～13日に盛岡、後期は12月11～12日に広島にて開催した。また、関東地区事務担当者会議を9月12日に守谷にて開催、関西地区事務担当者会議を10月17日に箕面にて開催した。

12 支部活動

(1) 北海道支部	2025年10月 2日	会計監査	
	2025年10月17日	支部総会	
(2) 東北支部	2025年 5月 8日	会計監査	
	2025年 5月15日	支部総会	
	2025年11月 5日	見学会	
(3) 新潟支部	2025年 9月12日	会計監査	
	2025年11月19日	運営委員会	
	2025年11月19日	支部総会	
(4) 中部支部	2025年 7月23日	見学会	
	2025年 8月29日	会計監査	
	2025年 9月24日	支部総会	講演
(5) 関西支部	2025年 5月 8日	会計監査	
	2025年 7月11日	運営委員会	
	2025年 8月 1日	支部総会	講演
(6) 広島支部	2025年 9月 1日	会計監査	
	2025年 9月 1日	支部総会	
	2025年 9月 1日	運転業務研究発表会	
(7) 四国支部	2026年 2月 4日	会計監査	
	2026年 3月10日	支部総会	講演
(8) 九州支部	2025年 6月 3日	会計監査	
	2025年 6月27日	幹事会	
	2025年 7月24日	運営委員会	
	2025年 7月24日	支部総会	講演
(9) 関東部会	2025年 9月 3日		

13 講演・試乗会

(1) 講演会

- ・第15回定時社員総会 2025年6月27日
講演者 一般社団法人 日本気象協会 鈴木 靖 様
演 題 「異常気象の多発と気候変動」－激甚化する気象災害への備え－
- ・中部支部総会 2025年9月24日
講演者 近畿日本鉄道株式会社 産業医 酒井秀精 様
演 題 「怒りと上手に付き合うアンガーマネジメント入門」
- ・関西支部総会 2025年8月1日
講演者 西日本旅客鉄道株式会社 鉄道本部 安全研究所

ヒューマンファクターⅡ研究室 担当室長 堀下 智子 様

演 題 心理的安全性

・四国支部総会 2026年3月10日

講演者 公益財団法人 鉄道総合技術研究所 人間科学研究部 安全心理
研究室長 村越 暁子 様

演 題 「違反防止策と安全風土について」

・九州支部総会 2025年7月24日

講演者 福岡地域戦略推進協議会

ディレクター 片田 江由佳 様

演 題 「産学官民の一体となった事業の創出についてアプローチ手法や実例」

(2) 試乗会

- ・2025年9月 東京臨海高速鉄道 新型車両71-000形 試乗会 (105名)
- ・2026年1月 近畿日本鉄道株式会社 新型一般車両「1A系」試乗会 (32名)
- ・2026年1月 京王電鉄株式会社 新型車両2000系 試乗会 (137名)

1.4 役員及び職員等 (2026年3月31日現在)

役 職 名	定 員	実 員
代表理事・会長	1名	1名
代表理事・専務理事	1名	1名
執行理事	2名以内	2名
理事 (上記を除く)	46名以内	45名
監事	2名以上5名以内	3名
職員・嘱託	—	9名

1.5 会員数 (2026年3月1日現在)

正会員 (個人) 21,770名 (対前年同期比 961名減)
法人会員 231社 (対前年同期比 1社増)

III 事業関係

1 2025年度の主な事業概要は、以下のとおりである。

- (1) 運転協会誌は、旬なテーマや会員からの意見を特集として取り上げ、読者が興味を持ち、役立つ内容の編集に注力した。
- (2) 受託調査研究は、国土交通省から「令和7年度鉄道に関する技術上の基準を定める省令第97条 (駐車場の境界) 等に関する調査検討」、「令和7年度動力車操縦者運転免許制度のあり方に関する調査検討」、「令和年度動力車操縦者の身体検査に関する調査検討」の3件を受託した。
また、国土交通省から一般社団法人日本鉄道電気技術協会が受託した「令和7年度地域鉄道における自動運転の導入を目指した列車制御システムに関する検討」のうち「標準的な仕様における運転取扱いの課題整理」について一般社団法人日本鉄道電気技術協会から再受託した。
なお、鉄道事業者からの受託件名は東日本旅客鉄道株式会社から、「山手線ドライバレス運転検討委員会」を受託した。
- (3) 自主研究は『異常時における基本的な対応・取組みについて』3月19日開催の第2回委員会において報告書原案、次期研究テーマ、次期委員長、副委員長の選出について承認された。
- (4) 2025年度の講習会は、運転設備研修講座 (93名)、運転法規研修講座 (140名)、運転理論 (運転曲線) 講習会 (69名)、運転関係指導者講習会 (219名)、運輸業務管理ゼミナール (95名) の合計616名の受講者の参加があった。
- (5) 運転業務研究発表会は、46回目となり11月13日、14日に開催され33件の研究テ

マの発表があった。入場者数は558名であった。

- (6) 海外鉄道視察団派遣は、9月23日～10月2日までの10日間欧州3か国を訪問視察した。参加人員20名。

2 運転協会誌発行

第67巻4月号から第68巻3月号までを発行した。前年に引き続き協会会員の要望に応えるよう出来るだけ各号を特集化し、資料としても活用できるように配慮した編集に尽力して、会員の負託に応えられるよう更なる内容の充実を図った。

2025年	4月号	乗務員の睡眠	特集
〃	5月号	乗務員指導者	特集
〃	6月号	第三セクター鉄道	特集
〃	7月号	ダイヤ改正	特集
〃	8月号	鉄道施設の保守・整備	特集
〃	9月号	DXの取組み	特集
〃	10月号	定期外旅客の創造	特集
〃	11月号	自然災害	特集
〃	12月号	降積雪対策	特集
2026年	1月号	(新年号のため特集なし)	
〃	2月号	業務研究	特集
〃	3月号	働き方改革	特集

3 図書発行・販売

- (1) 「解説 鉄道に関する技術基準（運転編）」（第九版）（令和6年6月発行）
省令及び解釈基準を制定した時点での技術的根拠、事例等の考え方等をまとめものであり、実施基準の策定、管理、運転の取扱い等に活用が期待される書で、販売数は446冊であった。
- (2) 「運転理論（再改訂版）」（初版）（平成22年5月発行）
輸送計画における運転理論の役割、基礎項目の解説から運転線図の作成までを最近の鉄道技術の進歩に合わせて改訂した詳細解説の専門書で、販売数は119冊であった。
- (3) 「鉄道のスピードアップ」（第四版）（平成8年7月発行）
鉄道のスピードアップの技術は、車両・施設・電気・運転等全般にわたるため、各専門分野の第一人者の方々の協力を得て、体系的に整理された技術書で、販売数は1冊であった。
（2025年7月18日販売終了）
- (4) 「鉄道の運転保安設備（付 輸送計画実務の手引き）」（初版）（平成18年9月発行）
鉄道の運転保安設備に関する基本的な考え方や、新しいシステム・機器の開発を含め、輸送・運転・設備関係者の実務・教習用としてまとめ整理された専門技術書で、129冊の販売であった。
- (5) 「重大運転事故記録・資料（復刻版）追補第二版 昭和62年4月～平成23年3月」（平成25年12月発行）
鉄道有史以来平成23年3月までの旧日本国有鉄道及び地方鉄道・軌道における重大事故記録をまとめたもので、鉄道の運転・保安業務に携わる方々を中心に購入希望があり、23冊の販売数であった。
- (6) 「安全の仕組みから解く 鉄道の運転取扱いの要点」（初版）（平成24年8月発行）
鉄道の安全の仕組みの生い立ちと現在の運転取扱いとの関わりについてまとめたもので、鉄道事業者の関係者などに向けた専門書であるが、易しく核心を捉えた解説書で、販売数は34冊であった。
- (7) 「安全のキーポイント～ヒューマンエラーの防止～」（復刻版）（平成26年2月発行）
平成8年以来、絶版となっていたが、会員の要望により復刻した。実務を基礎としたヒューマンエラーの防止を「こころの働き」「適性」「からだのリズム」「乗務作業の特徴」「エラール行動」「教育・指導方法」「運転用機器」「健康管理」の8つのキーとして捉え、解説をしている指導・保安担当関係者の基礎学習書で、販売数は23冊であった。

- (8)「実践運転概論」(第二版) (令和2年6月発行)
協会顧問が永年にわたって講習した内容をわかりやすくまとめて、書籍として発行した。
また、一部版の改訂を行った。販売数は10冊であった。
- (9)「わかりやすい運転操縦実務」(初版) (平成27年3月発行)
平成25年度、26年度にかけて設置した「わかりやすい運転操縦実務研究委員会」による報告書を元に書籍化した。運転士目線での運転操縦実務を解説した技術解説書で、販売数は24冊であった。
- (10) このほか、運転協会誌の一般書店等における販売数は583冊であった。

4 受託調査研究

- (1)「鉄道に関する技術上の基準を定める省令第97条(駐車場の境界)等に関する調査検討」(国土交通省委託)

鉄道の技術基準については、平成14年3月に技術基準省令が性能規定化されて以来、国土交通省から、この省令等の運転関係における見直しについての調査検討を委託されている。2025年度は、運転の実務者において駐車場・停留場の意識と異なる定義になっていることを懸念する意見があったことから、「駐車場」と「停留場」の使い分けについて、閉塞方式の変更を行う際の具体的な運転取扱いを整理し、各部門で用語の使い方を確認し、見直しの方針案を作成する等再整理を行った。

なお、運転の技術基準等の見直し等に関する調査について、鉄道事業者等に対して、技術基準等の運用上の問題点や、技術革新や社会環境の変化などによるニーズ等を把握するための調査を行い、その結果をとりまとめ、見直し等の必要性について整理する検討を行った。

- (2)「令和7年度 動力車操縦者運転免許制度のあり方に関する調査検討」(国土交通省委託)

動力車操縦者の運転免許制度については、昭和31年に制定された動力車操縦者運転免許に関する省令(以下、「動免省令」という。)において、制度を定め、これまで運用されている。また、動免省令に規定される指定養成所については、昭和44年に制定された通達「指定動力車操縦者養成所に対する指導基準」(以下、「指導基準通達」という。)において、講習内容や使用教材等の運転士養成に必要な項目が定められているが、制定されて以降、一度も大きな見直しが行われることがないまま、今日に至っている。

一方、この間のハイブリッド車両等の導入や、CAI教材やシミュレータ等の効率的な学習を実現するための教材の充実等により、制定当時とは環境が大きく異なっていることから、運転士の資質の維持向上と鉄道輸送の安全が確保されることを前提に、令和6年度は動免省令並びに指導基準通達に対する鉄道事業者の意向を調査し、制度の見直しに向けた検討を昨年度に引き続き国土交通省から委託され、報告した。

- (3)「令和7年度 動力車操縦者の身体検査に関する調査検討」(国土交通省委託)

動力車操縦者の身体検査(視機能・聴力)について身体検査の合格基準については、医療技術の発達や社会情勢の変化を踏まえ、動力車操縦者(以下「運転士」という。)が適正な環境下で健全な状態で乗務できることを目的に適宜改正しており、平成13年度には、実質的な身体機能及び運動機能に着目した「能力基準」に改められているとともに、その後も運転士の資質に関する各種調査検討を重ねてきているところである。

しかしながら、同身体検査の項目のうち「聴力」については、補聴器の使用が一般的となっているが、動力車操縦者における補聴器の使用及びその運用上の課題が多く、今後の検討課題とされていることから、運転士の資質の維持向上と鉄軌道輸送の安全が確保されることを前提に、動免省令別表2に規定する聴力の基準に対応する補聴器に係る検査方法及び評価上の注意等について調査検討を行う委託され、国土交通省に報告した。

また、同身体検査の合格基準に適合するかの検査及び判定について適正かつ標準的な運用を図るための指針である動力車操縦者身体検査マニュアル(仮称)には、同身体検査の項目のうち「中毒」に関する検査及び判定等の内容が示されていないことから、運転士の資質の維持向上と鉄軌道輸送の安全が確保されることを前提に、動力車操縦者身体検査マニュアル(仮称)に反映すべき中毒に関する検査方法及び評価上の注意等の内容について調査検討を国土交通省から委託され、報告した。

(4) 「山手線ドライバレス運転検討委員会」 (JR 東日本委託)

少子高齢化や働き方改革などにより社会環境が変化する状況においても、効率的で持続可能な鉄道経営を維持し、より安全でかつ利便性の高い輸送サービスの実現を目指し、山手線へのドライバレス運転導入に向けた検討、開発を行っている。システムの安全性や信頼性、運転取扱いなど様々な角度から検討を進めるため、JR 東日本から委託され「山手線ドライバレス運転検討委員会」を設立。全6回の検討委員会のうち、今年度は3回の検討委員会を実施した。

5 自主研究

2024年度(第42回)調査研究テーマ『異常時における基本的な対応・取組みについて』と『アンケート内容』について第1回委員会にて承認をいただき、2025年4月に29社局へアンケート調査を実施した。現在、小委員会3回、幹事会21回開催し、研究成果について2026年3月を目標に取り纏め、第2回委員会で報告・承認いただいた後、2026年5月中旬を目途に製本し、実効性の高い報告書を各事業者へ配布できるよう取り組んでいる。

6 講習会等

(1) 第30回運転設備研修講座

- ・施行日 2025年6月11日～13日
- ・会場 機械振興会館
- ・受講者 93名
- ・講師 (順不同・敬称略)
国土交通省鉄道局技術企画課 専門官 川又 夕希子 氏
東日本旅客鉄道(株) 鉄道事業本部 安全企画部主幹 片方 喜信 氏
一般社団法人日本鉄道運転協会 顧問 寒河江 仁 氏
西武鉄道株式会社 鉄道本部 安全推進部長 高橋 正信 氏

(2) 第31回運転理論(運転曲線)講習会

- ・施行日 2025年8月19日～22日
- ・会場 機械振興会館
- ・受講者 69名
- ・講師
元JR水戸鉄道サービス(株) 監査役 赤津 尚孝 氏

(3) 第31回運転法規研修講座

- ・施行日 2025年9月10日～12日
- ・会場 機械振興会館
- ・受講者 140名
- ・講師 (順不同・敬称略)
国土交通省鉄道局技術企画課 運転基準係長 荒井 健吾 氏
東京地下鉄(株) 安全・技術部 技術管理担当部長 作原 敏弘 氏
一般社団法人日本鉄道運転協会 顧問 石濱 順吉 氏

(4) 第60回運転関係指導者講習会

- ・開催日 前期 2025年10月 8日(水)～10日(金)
後期 2025年10月22日(水)～24日(金)
- ・会場 機械振興会館
- ・受講者 219名(前期96名 後期123名)
- ・講師 (順不同、敬称略)
国土交通省 鉄道局 安全監理官 高井 誠治 氏
JR東日本健康推進センター 医学適性科担当部長 山本 尚寿 氏
(株)JR東日本パーソナルサービス 常勤顧問 佐藤 寿 氏
株式会社ルミネクリエーツ 顧問 土屋 博一 氏
(株)JR東日本パーソナルサービス ソリューション事業部 人事法規チーム 部長 吉田 秀貴 氏

政策研究大学院大学	教授	鈴木 博人 氏
エラー・コツ研究所	代表 博士 (心理学)	楠神 健 氏
(株)パーソナルサービス(派遣依頼)	(株)オンリーワン専属講師	川添 美和 氏

(5) 第23回 運輸業務管理ゼミナール

- ・施行日 2026年 2月5日～ 6日
- ・会場 機械振興会館
- ・受講者 95名
- ・講師 (順不同・敬称略)

国土交通省 鉄道局	安全監理官	高井 誠治 氏
元帝都高速度交通営団		佐藤 公一 氏
(株)オンリーワン	専属講師	森 みや子 氏
西日本旅客鉄道株式会社	安全研究所担当部長	鶴原 修 氏
東急電鉄株式会社	総括産業医	伊藤 克人 氏
静岡英和学院大学	教授	重森 雅嘉 氏

7 第65回海外鉄道視察団派遣

2025年度の海外鉄道視察団派遣は、参加者20名で開催、9月23日～10月2日までの10日間の行程で欧州3か国（ポルトガル、スペイン、フランス）を訪問、視察を行った。

8 第46回運転業務研究発表会

- (1) 実施日 2025年11月13日（木）、11月14日（金）
- (2) 会場 機械振興会館 ホール
- (3) 聴講者 無料
- (4) 発表社局と発表テーマ 30社局33テーマ（2025年度までの累積発表件数1,062件）
- (5) 発表者と表彰結果

第46回運転業務研究発表作品数は33件の応募があり、発表後の審査結果は、鉄道局長賞1社、協会会長賞1社、交通新聞社賞1社、審査委員特別賞1社、優秀賞7社、奨励賞7社、努力賞15社であった。

(運転業研発表会作品成績表 別紙-1参照)

9 創立記念式典及び表彰関係

2026年1月29日創立67周年記念式典を飯田橋ホテルメトロポリタンエドモントにおいて挙行し、東記念賞、運転功労者表彰、運転協会誌優秀作品賞及び協会功績者褒章の表彰を行った。

(運転功労者賞、運転協会誌優秀作品賞、協会功績者褒賞名は、別紙-2, 3 参照)

(1) 東記念賞

件 名	受賞者
駅前大橋ルート整備について	広島電鉄株式会社

- (2) 運転功労者賞：鉄道の運転業務に顕著な功績があつて支部長から推薦された28名に表彰状を授与した。累計では2025年度までに1,291名を数える。
- (3) 運転協会誌優秀作品賞：運転協会誌において特に優秀と認められた作品に対して優秀論文会長賞1名、優秀論文賞3名、優秀エッセイ賞3名に表彰状を授与した。
- (4) 協会功績者褒賞：運転協会の発展に特に貢献された5名に褒賞を授与した。

10 運転協会誌表紙写真コンテスト

2026年度用運転協会誌表紙写真コンテスト（応募者63名、作品249点）は、2026年3月5日の審査で入選作品を決定し、表彰した。

特選	雪ニモマケズ	西武鉄道(株)	原田 棕介 氏
1等	祭りの日	相模鉄道(株)	野渡 優弥 氏
	黒き咆哮	西武鉄道(株)	竹内 智宏 氏
	夕日を浴びて	江ノ島電鉄(株)	御園生 隆之 氏
2等	6点		
佳作	10点		

(運転協会誌表紙写真コンテスト入賞者一覧 別紙-4 参照)

1.1 特定技能制度、育成就労制度への対応

2019年4月1日に始まった改正出入国管理及び難民認定法により、「特定技能」という新しい外国人在留資格が設けられ、鉄道分野においては、軌道整備、電気設備整備、車両整備、車両製造、運輸係員、駅・車両清掃の6つの業務区分で、即戦力となる外国人を受け入れることができるようになった。当協会は運輸係員区分の試験実施機関として、会員各社の協力を仰ぎながら、特定技能評価試験の準備を進めてきた。2026年3月20日には、初めての特定技能評価試験を実施した。

また外国人が段階的に技能を身につけながら働くことを目的とした育成就労制度についても、当協会が試験実施機関として指定されたことを受けて、2027年4月1日の施行日に向けて、準備を進めている。

事業報告の付属明細書

2025年度 第46回 運転業務研究発表会 研究作品成績表

賞	標 題	会 社 名	職 場 名
鉄道局長賞	AI を用いた多客時の体制構築と雑踏事故防止	東海旅客鉄道株式会社	関西支社 新大阪駅
協会会長賞	車掌カメラの導入について	京王電鉄株式会社	鉄道事業本部 鉄道営業部 桜上水乗務区
交通新聞社賞	インバウンドへの異常時案内対応	南海電気鉄道株式会社	鉄道事業本部 運転車両部運転課 和歌山・泉南管区 関西空港駅
審査員特別賞	成長支援 ～個人カルテが導く安全文化～	小田急電鉄株式会社	交通サービス事業本部 運輸車両部 大野乗務所
優秀賞	ヒヤリハットチームなんていない！	東急電鉄株式会社	都市交通事業本部 運輸部 長津田車掌区
優秀賞	西武鉄道版 鹿衝撃減少への挑戦	西武鉄道株式会社	鉄道本部 運輸部 飯能乗務所
優秀賞	駆け込み乗車抑止灯の有効性評価	福岡市交通局	運輸部 姪浜乗務事務所 鉄道異常時対策委員会
優秀賞	異常時対応の新たなカタチ～アナデジ融合～	阪神電気鉄道株式会社	都市交通事業本部 運輸部 東部列車所
優秀賞	乗務員アシストツールの開発と有効性の検証	東日本旅客鉄道株式会社	東北本部 仙台統括センター 仙台乗務業務ユニット
優秀賞	乗務員運用変更における調整方法の改善	西日本旅客鉄道株式会社	金沢支社 金沢新幹線総合指令所
優秀賞	運転支援アプリの開発とGPSの処理について	北海道旅客鉄道株式会社	運輸部 運用課 札幌運転所
奨励賞	過去から未来へ紡ぐDX化による情報共有	東京地下鉄株式会社	鉄道本部 運転部 南北線乗務管区
奨励賞	車掌の判断能力向上に向けた教育手法の研究	東海旅客鉄道株式会社	東海鉄道事業本部 中津川運輸区
奨励賞	インバウンド旅客と乗務員の安心快適の追求	阪急電鉄株式会社	都市交通事業本部 運輸部 京都線運輸課運転係
奨励賞	業務用タブレットの検討について	札幌市交通局	高速電車部 運輸課 東豊線乗務係
奨励賞	急病人対応の向上について	名古屋鉄道株式会社	鉄道事業本部 運転保安部 瀬戸運輸区
奨励賞	届かぬ声は文字でお届け！指令の見える化	相模鉄道株式会社	運輸車両部 運輸課 運輸司令所
奨励賞	ワンマン運転における現状の課題と対策	大阪市高速電気軌道株式会社	交通事業本部 運転部 乗務運輸事務所今里乗務所
努力賞	ワンランク上のエコ運転を目指して	京浜急行電鉄株式会社	鉄道本部 運輸営業部 金沢文庫乗務区
努力賞	編成両数誤認による停止位置間違い防止対策	横浜市交通局	高速鉄道本部 川和乗務管理所
努力賞	事故・災害発生時における指令対応力強化	近畿日本鉄道株式会社	鉄道本部 名古屋統括部 運行課運転指令
努力賞	乗務中の不安を解消するタブレットの活用	東武鉄道株式会社	鉄道事業本部 営業統括部 運輸部 南栗橋乗務管区
努力賞	高齢のお客さまに安心してご利用いただく為に	山陽電気鉄道株式会社	鉄道事業本部 運転車両部 運転課 乗務管区
努力賞	酷暑日の異常時におけるお客様の安全確保	愛知環状鉄道株式会社	運転課
努力賞	乗務員を支える仮眠文化の醸成に向けた実践	首都圏新都市鉄道株式会社	乗務管理所
努力賞	防犯盾導入による安全性の確保について	仙台空港鉄道株式会社	運輸管理所・営業課
努力賞	視界良好と適切な操業でお客さまを守る	京阪電気鉄道株式会社	営業推進部 営業課 大阪列車区
努力賞	ヒューマンエラーの可視化	西日本鉄道株式会社	運転車両部 運転課 筑紫乗務所
努力賞	ホームドアの更なる安全性向上を目指して	阪急電鉄株式会社	都市交通事業本部 運輸部 京都線運輸課運転係
努力賞	運転士のマルチスキル化に向けた取組み	九州旅客鉄道株式会社	熊本乗務センター
努力賞	共育～共に育ち次に継げる職場づくり～	四国旅客鉄道株式会社	高松運転所車掌科
努力賞	データベースを活用したヒューマンエラー分析	日本貨物鉄道株式会社	北海道支社 五稜郭機関区
努力賞	警察・消防との異例事態対応訓練を通して	近畿日本鉄道株式会社	鉄道本部 大阪統括部 運輸部 大和八木駅

賞 鉄道局長賞 1 会長賞 1 交通新聞社賞 1 審査員特別賞 1
 優秀賞 7 奨励賞 7 努力賞 15

2025年度 運転功労者表彰

番号	支部	賞	社名	所属部署・役職	氏名
1	北海道	運転功労者	北海道旅客鉄道株式会社	鉄道事業本部 運輸部・専任課長	吉田 浩則
2	東北	運転功労者	JR盛岡鉄道サービス株式会社	本社・常務取締役	森田 美喜男
3	新潟	運転功労者	株式会社 JR 西日本金沢メンテック	安全品質本部・取締役品質本部長	上坂 敏美
4	関東	運転功労者	東日本旅客鉄道株式会社	高崎支社 高崎統括センター (乗務ユニット)・乗務統括	久保 貴士
5	関東	運転功労者	東日本旅客鉄道株式会社	首都圏本部 鉄道事業部 安全企画 ユニット(企画戦略)・マネージャー	北澤 茂
6	関東	運転功労者	東急電鉄株式会社	経営戦略部 人事開発課 鉄道研修 センター・課長補佐	須山 和明
7	関東	運転功労者	東急電鉄株式会社	鉄道事業本部 運輸部 世田谷線管 区・区長	中村 雄治
8	関東	運転功労者	東京地下鉄株式会社	東西線乗務管区・区長	斉藤 正利
9	関東	運転功労者	京浜急行電鉄株式会社	鉄道本部 運輸営業部 管理課・課長 補佐	西田 正人
10	関東	運転功労者	京王電鉄株式会社	鉄道事業本部 鉄道営業部 新宿 管区・管区長	竹島 亮二
11	関東	運転功労者	西武鉄道株式会社	人事部出向(次長待遇) 伊豆箱根鉄道株式会社	植松 晃
12	関東	運転功労者	京成電鉄株式会社	運輸部 新津田沼駅・駅長	新目 和雄
13	関東	運転功労者	京成電鉄株式会社	運輸部 八千代台駅・駅長	岩崎 啓史
14	関東	運転功労者	東武鉄道株式会社	運輸部 運転課・課長補佐	関 淳也
15	関東	運転功労者	小田急電鉄株式会社	交通サービス事業本部 運転車両部 喜多見乗務所・助役	田口 清司
16	関東	運転功労者	東海旅客鉄道株式会社	新幹線鉄道事業本部 東京駅 助役(輸送科長指定)	島田 秀行
17	関東	運転功労者	株式会社小田急箱根	鉄道部・課長代理	遠藤 守
18	関東	運転功労者	株式会社ゆりかもめ	運輸部・運輸課長	栗原 英人
19	中部	運転功労者	近畿日本鉄道株式会社	鉄道本部 名古屋統括部 運輸部 運行課・課長補佐	稲垣 幸治
20	中部	運転功労者	名古屋鉄道株式会社	金山幹事駅・幹事駅長	豊田 康之
21	中部	運転功労者	天竜浜名湖鉄道株式会社	運輸技術部 運転課・運転課長	平岩 清
22	関西	運転功労者	東海旅客鉄道株式会社	大阪第一運輸所・助役(総務課長)	平尾 徹也
23	関西	運転功労者	西日本旅客鉄道株式会社	近畿統括本部 京橋電車区・区長	龍野 二三男
24	関西	運転功労者	近畿日本鉄道株式会社	鉄道本部 企画統括部 運転保安部 ・課長補佐	森本 克彦
25	関西	運転功労者	阪急電鉄株式会社	都市交通事業本部 運輸部 京都線 運輸課 運輸係・運転係長	山本 敏己
26	関西	運転功労者	南海電気鉄道株式会社	運輸車両部 輸送指令・輸送司令長	久才 真一
27	広島	運転功労者	広島高速交通株式会社	運輸部 運輸課 課長補佐(事務取 扱) 運輸係長	高知 良二
28	九州	運転功労者	九州旅客鉄道株式会社	小倉運転区・区長	佐藤 健

2025年度 運転協会誌 優秀論文会長賞、優秀論文賞、優秀エッセイ賞

1 優秀論文会長賞作品

執筆者名	会社名	標 題
嶋田 和真	名古屋鉄道株式会社	乗務員タブレットでもっと安全に, もっと便利に(2025.9月号)

2 優秀論文賞作品

執筆者名	会社名	標 題
前田 英律	東海旅客鉄道株式会社	東海旅客鉄道の国際関係業務(2025.1月号)
野間 浩二	阪急電鉄株式会社	神戸線ダイヤ改正 神戸本線すべての列車を8両編成に統一せよ—スジ屋の苦悩はじまる—(2025.7月号)
千葉 浩正	首都圏新都市鉄道株式会社	TXにおける指定養成所の新規開設(2024.12月号)

3 優秀エッセイ賞作品

執筆者名	会社名	標 題
梶谷 勇一	一畑電車株式会社	【鉄道紀行】(456) 神々の集う地～出雲へ誘う参詣電車(2025.2月号)
富岡 有光	真岡鐵道株式会社	【鉄道紀行】(462) 響け! 汽車の汽笛と感動の声(2025.8月号)
山田 晃裕	智頭急行株式会社	【運転日誌余話】(395)運転士編 入社20年目社員の初めての運転士養成(2025.3月号)

2025年度 協会功労者褒章

執筆者名	会社名	職 名
山崎 直	小田急電鉄株式会社	課長
塚田 雅弘	名古屋鉄道株式会社	事業統括課長兼名駅再開発事業部課長
小森 健一	京急サービス株式会社	鉄道事業部長
山本 俊之	西武鉄道株式会社	運転司令長兼情報司令長
山口 嘉之	東急電鉄株式会社	溝の口乗務区 区長

2026年度 運転協会誌表紙写真コンテスト入賞者

応募総数 63名 249点

賞	氏名	所属会社	作品名
特選	原田 椋介	西武鉄道(株)	雪ニモマケズ
1等	野渡 優弥	相模鉄道(株)	祭りの日
	竹内 智宏	西武鉄道(株)	黒き咆哮
	御園生 隆之	江ノ島電鉄(株)	夕日を浴びて
2等	寺澤 秀樹	愛知環状鉄道(株)	ローカル駅の春
	谷元 健治	しなの鉄道(株)	流水物語号
	小坂橋 美次	東日本旅客鉄道(株)	蒼海を渡る余部橋梁
	岩崎 武	近畿日本鉄道(株)	光の中へ
	中久喜 保	相模鉄道(株)	晩秋の煙
	固山 敏行	京三エレコス(株)	静かな朝
佳作	樋口 貴士	西日本旅客鉄道(株)	白銀の頂
	中原 英雄	東急電鉄(株)	離合
	南部 司	東急電鉄(株)	黄昏タイム
	小峰 一茂	東武鉄道(株)	上白滝春景色
	原田 将浩	南海電気鉄道(株)	爆雪！宗谷の守護神
	佐藤 峻	東急電鉄(株)	トワイライトタイム
	志村 泰洋	東武鉄道(株)	新緑輝く時
	塩谷 紘人	東葉高速鉄道(株)	夜光列車の目覚め
	清水 大輔	近畿日本鉄道(株)	緑のトンネル
	吉田 忠司	京王電鉄(株)	祭の中

報告 2 2026年度事業計画及び予算

2026年度事業計画

I 2026年度事業計画

2025年の訪日外国人旅行者数は4,268万人と過去最高を記録し、訪日需要が堅調に推移しています。安全かつ快適にご利用いただく鉄道業界の取組みが、多くの外国人旅行者の再訪日に繋がっています。また、深刻化する人手不足に備えるために、乗務員のワンマン化や自動運転の導入が推進されるほか、鉄道部門に優秀な外国人材を活用するための施策が官民一体となって進められています。

2026年度については、会員相互の情報共有と研鑽に資するという協会の使命を果たすべく、各種委員会の運営、運転業務研究発表会の開催、各種講習会の開催を通じてより実践的な知識の習得を図るとともに、会員間のコミュニケーションを重視した交流の機会を提供するなど、会員各社局の発展に貢献していきます。また、海外鉄道視察団を通じて海外の最先端情報を習得するとともに、現地の鉄道関係者と意見交換を行うなど海外交流にも努めます。さらに、自動運転の導入路線の拡大や技術の深度化の対応や、受託調査研究での鉄道共通の課題の解決と1年でも長く乗務が続けられる環境づくりに取り組んでいきます。

2027年4月に新制度「育成就労制度」が始まることに伴い、外国人材を運輸係員として受け入れ、一定の技能水準まで育成し、より長期で働ける特定技能への移行を促すために、試験実施機関として協会の役割を果たしていきます。

今後も会員の負託に応えるべくより魅力的な活動を進めるとともに、業務の効率化と協会事業の発展を図ります。

1 会務関係

(1) 第16回評議委員会	2026年 6月30日 (火)
(2) 第16回定時社員総会	2026年 6月30日 (火)
(3) 理事会 第61回	2026年 6月30日 (火)
第62回	2026年 6月30日 (火)
第63回	2026年11月25日 (水)
第64回	2027年 3月 5日 (金)
(4) 運営委員会 第20回	2026年 8月17日 (月)
(5) 関東部会 第52回	2026年 9月 2日 (水)
(6) 支部長会議 (理事会と同時開催) 第31回	2026年11月25日 (水)
(7) 東記念賞選考委員会 (理事会と同時開催)	2026年11月25日 (水)
(8) 第68回創立記念式典	2027年 1月29日 (金)
(9) 企画委員会	原則として奇数月の第3木曜日に開催
(10) 運転管理研究委員会	原則として年2回開催 (5月及び11月)
(11) 安全情報委員会	原則として年1回開催
(12) 編集委員会	毎月上旬に開催
(13) 運転業務改善研究委員会	原則として毎月1回開催
(14) 運転協会全国事務担当者打合会議	原則として年2回開催(上期と下期)

2 事業関係

(1) 協会誌発行事業

従来と同様、運転協会誌を輸送関係の情報誌及び会員相互の連携を深める会員誌として、さらに内容の充実に努める。

(2) 表彰等事業

第68回創立記念式典を2027年1月29日(金)、ホテルメトロポリタンエドモント(水道橋)で挙げるのに併せて、東記念賞、運転功労者表彰、運転協会誌優秀作品賞、協会功績者褒賞の表彰を行う。

(3) 調査研究事業

ア 調査研究

鉄道・軌道の技術基準に関する見直し作業を推進する他、運転業務改善研究委員会を開催し引き続き課題の自主研究を行う。

イ 運転業務研究発表会

運転業務研究発表会(第47回)を2026年11月12日(木)・13日(金)に開催する。

ウ 鉄道事業者に対する教育支援事業

鉄道事業者の要望に応じ、随時実施する。

(4) 講習会事業

各講習会は、理解を深め知識を習得する目的で集合研修を行います。

ア 運転設備研修講座		2026年	6月10日(水)～12日(金)
イ 運転理論(運転曲線)講習会		2026年	8月18日(火)～21日(金)
ウ 運転法規研修講座		2026年	9月9日(水)～11日(金)
エ 運転関係指導者講習会	前期	2026年10月	7日(水)～9日(金)
	後期	2026年10月	21日(水)～23日(金)
オ 運輸業務管理ゼミナール		2027年	2月4日(木)～5日(金)

(5) 広告・図書発行、販売事業

協会誌掲載の広告の募集を行う他、引き続き以下の書籍の販売及び新刊書の発行検討を行う。

ア 「運転理論」(再改訂版)基礎知識と応用	(2022年	8月20日	初版発行)
イ 「解説 鉄道に関する技術基準(運転編)」	(2024年	6月20日	第9版発行)
ウ 「鉄道の運転保安設備(付 輸送計画実務の手引き)」	(2006年	9月15日	初版発行)
エ 「重大運転事故記録・資料(復刻版) 追補(第3版) 昭和62年4月～令和7年3月」	(2026年	6月5日	第3版発行)
オ 「安全の仕組みから解く 鉄道の運転取扱いの要点」	(2012年	8月5日	初版発行)
カ 「安全のキーポイント～ヒューマンエラーの防止～(復刻版)」	(2014年	12月10日	復刻版発行)
キ 「実践運転概論」	(2015年	4月3日	第2版発行)
ク 「わかりやすい運転操縦実務」	(2015年	3月20日	初版発行)

(6) 技術・技能の認定事業

特定技能制度の試験機関として試験を行う。また、育成就労制度の試験機関として準備を行う。

(7) その他

- ア 正会員、法人会員各社の関係者名簿の整備・作成
- イ 運転協会誌表紙写真コンテストの実施

- ウ 情報・資料の提供
- エ 業務相談等の実施
- オ 受託する運転業務関係の研究・調査事業の推進
- カ 本部主催の講演会を行う他、支部が計画する講演会については、必要に応じて本部が支援する。
- キ 試乗会、見学会等
本部・支部主催の試乗会、見学会を随時計画・実施する。

2026年度 事業別収支予算

2026年4月1日から2027年3月31日まで

(単位:千円)

科目	2026年度予算 (a)	2025年度決算見込 (b)	対前年 増減 (a)-(b)
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益			
特定資産受取利息			0
定期預金利息	0	0	0
普通預金利息	100	100	-0
特定資産運用益計	100	100	-0
受取入金			
入会金収入			0
通常会員(個人)	6	5	1
通常会員(法人)	84	84	0
受取入金計	90	89	1
受取会費			0
会費収入			0
通常会員(個人)	107,712	107,711	1
通常会員(法人)	28,588	28,588	0
受取会費計	136,300	136,299	1
事業収益			0
事業収入	67,177	67,730	-553
事業収益計	67,177	67,730	-553
雑収益			
受取利息	0	0	0
雑収入	0	0	0
雑収益計	0	0	0
経常収益計	203,667	204,219	-552
(2) 経常費用			
事業費計	162,313	173,772	-11,459
管理費計	45,029	36,983	8,046
経常費用計	207,342	210,755	-3,413
評価損益等調整前当期経常増減額			
当期経常増減額	-3,675	-6,536	2,861
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0		
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0		
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	-3,675	-6,536	2,861
一般正味財産期首残高	139,018	145,555	-6,536
一般正味財産期末残高	135,343	139,018	-3,675

第 1 号議案

2 0 2 5 年度 決算の承認に関する件

貸借対照表
2026年 3月31日現在

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	611,896	580,423	31,473
普通預金	66,728,106	40,055,534	26,672,572
振替貯金	47,910,142	90,821,496	-42,911,354
未収会費	14,516,400	4,600,000	9,916,400
未収金	14,021,170	11,284,451	2,736,719
貯蔵品	4,076,832	6,035,454	-1,958,622
前払金	469,334	867,558	-398,224
前払費用	770,256	523,500	246,756
流動資産合計	149,104,136	154,768,416	-5,664,280
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計			
(2) 特定資産			
退職給付引当預金	5,866,800	9,650,100	-3,783,300
創立記念引当預金	11,000,000	11,000,000	0
資産除却債務準備金(特)(一般)	22,000,000	22,000,000	0
災害対策準備金	10,000,000	10,000,000	0
特定資産合計	48,866,800	52,650,100	-3,783,300
(3) その他固定資産			
什器備品	3,929,331	3,929,331	0
ソフトウェア	999,000	999,000	0
減価償却累計額	-4,893,021	-4,849,035	-43,986
保証金	5,000,000	5,000,000	0
その他固定資産合計	5,035,310	5,079,296	-43,986
固定資産合計	53,902,110	57,729,396	-3,827,286
資産合計	203,006,246	212,497,812	-9,491,566
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	5,776,918	6,316,099	-539,181
前受会費	3,354,000	3,322,400	31,600
預り金	1,360,273	1,171,089	189,184
未払消費税等	895,700	1,606,400	-710,700
未払法人税等	70,000	70,000	0
賞与引当金	1,924,500	1,807,100	117,400
流動負債合計	13,381,391	14,293,088	-911,697
2. 固定負債			
退職給付引当金	9,680,300	9,650,100	30,200
創立記念引当金	11,000,000	11,000,000	0
資産除却債務引当金	22,000,000	22,000,000	0
災害対策準備金引当金	10,000,000	10,000,000	0
固定負債合計	52,680,300	52,650,100	30,200
負債合計	66,061,691	66,943,188	-881,497
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計			
(うち基本財産への充当額)			
(うち特定資産への充当額)			
2. 一般正味財産	136,944,555	145,554,624	-8,610,069
(うち基本財産への充当額)			
(うち特定資産への充当額)	(48,866,800)	(52,650,100)	-3,783,300
正味財産合計	136,944,555	145,554,624	-8,610,069
負債及び正味財産合計	203,006,246	212,497,812	-9,491,566

正味財産増減計算書

2025年 4月 1日から2026年 3月31日まで

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益			
特定資産受取利息	125,681	41,020	84,661
定期預金利息	106	55	51
普通預金利息	125,575	40,965	84,610
特定資産運用益計	125,681	41,020	84,661
受取入会金			
入会金収入	89,200	16,800	72,400
通常会員(個人)	5,200	2,800	2,400
通常会員(法人)	84,000	14,000	70,000
受取入会金計	89,200	16,800	72,400
受取会費			
会費収入	134,508,600	140,357,760	-5,849,160
通常会員(個人)	106,004,600	111,699,760	-5,695,160
通常会員(法人)	28,504,000	28,658,000	-154,000
受取会費計	134,508,600	140,357,760	-5,849,160
事業収益			
事業収入	63,079,258	68,396,476	-5,317,218
事業収益計	63,079,258	68,396,476	-5,317,218
経常収益計	197,802,739	208,812,056	-11,009,317
(2) 経常費用			
事業費			
事業費計	170,061,399	164,185,091	5,876,308
管理費計	36,351,409	42,896,552	-6,545,143
経常費用計	206,412,808	207,081,643	-668,835
当期経常増減額	-8,610,069	1,730,413	-10,340,482
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計			
(2) 経常外費用			
経常外費用計			
当期経常外増減額			
当期一般正味財産増減額	-8,610,069	1,730,413	-10,340,482
一般正味財産期首残高	145,554,624	143,824,211	1,730,413
一般正味財産期末残高	136,944,555	145,554,624	-8,610,069
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額			
指定正味財産期首残高			
指定正味財産期末残高			
III 正味財産期末残高	136,944,555	145,554,624	-8,610,069

財 産 目 録

2026年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場 所・物 量 等	使 用 目 的	金 額
資産の部			
流動資産			
現 金	手もと保管	運転資金として	611,896
預 金	普通預金	運転資金として	66,728,106
	三井住友銀行 神田駅前支店		(1,761,019)
	三井住友銀行 上野支店		(62,627,776)
	みずほ銀行 神田駅前支店		(2,272,406)
	三菱UFJ信託銀行 本店		(6,999)
	三菱UFJ信託銀行 本店 5		(59,906)
	郵便貯金	運転資金として	47,910,142
	郵便振替・東京貯金事務センター		
未収会費	2025年度会費	法人会計収益へ	14,516,400
未 収 金	受託料、協会誌購読料、書籍売上	調査研究事業、協会誌発行事業 広告・図書事業収益へ	14,021,170
貯 蔵 品	本部事務室(有償図書一部業者)	販売用図書、郵券類の棚卸資産	4,076,832
前 渡 金	各支部への助成金	各支部運営の為の助成金	469,334
前払費用	2026年度4月以降通勤定期券等	職員等に対する通勤定期代	770,256
流動資産合計			149,104,136
固定資産			
特定資産			
退職給付引当預金	普通預金	職員等に対する退職金支払いに備えるため	5,866,800
	三菱UFJ銀行 上野中央支店		(5,866,800)
創立記念事業引当預金	普通預金	創立記念式典の為の準備金	11,000,000
	三井住友銀行 上野支店		(11,000,000)
資産除去債務準備預金	定期預金	事業所の原状回復に必要とされる準備金	22,000,000
	三井住友銀行上野支店		(19,000,000)
	定期預金		(3,000,000)
	三菱UFJ信託銀行		
災害対策準備預金	定期預金	大災害時における会員救済の為の準備金	10,000,000
	三井住友銀行上野支店		(10,000,000)
その他固定資産			
什器備品	本部事務室	実施事業会計、その他事業会計及び法人会計の用に供している	3,929,331
ソフトウェア	本部事務室	会員管理システムに運用している	999,000
減価償却累計額		法人会計の用に供している	-4,893,021
保 証 金	本部事務室	サンフロンティア不動産(株)(貸主)	5,000,000
固定資産合計			53,902,110
資 産 合 計			203,006,246
負債の部			
流動負債			
未払金	運転協会誌4月号の印刷及び委託費等	協会誌4月号及び委託費等の未払	5,776,918
前受会費	2026年度分会費	2026年度分前納会費分	3,354,000
預り金	職員等の給与控除の社会保険料、源泉所得税、住民税及び報酬料金の源泉所得税	社会保険事務所、税務署、市町村へ納付する職員等の預り金	1,360,273
賞与引当金	2026年6月期賞与要支給見込額	職員等に対する賞与支払いのための引当金	1,924,500
未払消費税等	2025年度未払消費税等	2025年度消費税の未払分	895,700
未払法人税等	2025年度未払法人税等	2025年度法人税等の未払分(均等割)	70,000
流動負債合計			13,381,391
固定負債			
退職給付引当金	職員等に対する退職金支払いの為の準備金	職員等に対する退職金支払いの為	9,680,300
創立記念引当金	創立記念式典の為の準備金	創立記念式典の為の準備金 めの引当金	11,000,000
資産除去債務準備金	事業所の原状回復に必要となる債務	事業所の原状回復に必要とされる金額	22,000,000
災害対策準備金	大災害時における会員救済の為の準備金	大災害時における会員救済の為の準備金	10,000,000
固定負債合計			52,680,300
負 債 合 計			66,061,691
正味財産合計			136,944,555
負債及び正味財産の合計			203,006,246

財務諸表に対する注記

1. 継続組織の前提に関する注記

該当なし

2. 重要な会計方針

(1) 棚卸資産（貯蔵品）の評価基準及び評価方法

先入先出法による原価基準を採用している。

(2) 固定資産の減価償却の方法

什器備品 ・ ・ ・ ・ ・ 定率法によっている。

ソフトウェア ・ ・ ・ ・ ・ 定額法によっている。

(3) 引当金の計上基準

賞与引当金 ・ ・ ・ ・ ・ 翌期支払の職員等の賞与見込額のうち当事業年度に帰属する金額を計上している。

退職給付引当金 ・ ・ ・ ・ ・ 当事業年度末における退職給付債務に基づき、相当する金額を計上している。

創立記念事業引当金 ・ ・ 第70回創立記念式典に見込まれる費用のうち、等事業年度に引当てる金額を計上している。

(4) リース取引の処理方法

ファイナンス・リース取引で、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

3. 会計方針の変更

該当なし

4. 特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	当期末残高	うち負債に 対応する額	うち正味財産 からの充当額
特定資産			
創立記念引当預金(普通預金)	11,000,000	0	11,000,000
退職給付引当預金(普通預金)	5,866,800	0	5,866,800
資産除去債務準備預金(定期預金)	22,000,000	0	22,000,000
災害対策準備預金(定期預金)	10,000,000	0	10,000,000
合 計	48,866,800	0	48,866,800

5. 担保に供している資産

該当なし

6. 保証債務

該当なし

7. 重要な後発事象

該当なし

附 属 明 細 書

1. 特定資産の明細

特定資産の明細は、財務諸表に対する注記4、「特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。」に記載しているため省略します。

2. 引当金の明細

(単位:円)

科 目	期 首 残 高	当 期 増 加 額	当 期 減 少 額	期 末 残 高
賞 与 引 当 金	1,807,100	3,780,900	3,663,500	1,924,500
退 職 給 付 引 当 金	9,650,100	3,842,700	3,812,500	9,680,300

監 查 報 告 書

監査報告書

一般社団法人 日本鉄道運転協会
会長 井上 進 殿

2026年5月18日
一般社団法人日本鉄道運転協会

監事 竹谷 英樹



監事 但野 新二



監事 青山 裕一



私たちは、2025年4月1日から2026年3月31日までの2025年度における会計及び業務の監査を行い、次のとおり報告します。

1 監査の方法

- (1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧などを必要と思われる監査手続を用いて、書類の正確性を検討した。
- (2) 業務監査について、理事会及びその他の会議に出席して理事からの業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて、業務執行の妥当性を検討した。

2 監査意見

- (1) 貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録及び附属明細書は、会計帳簿記載の金額と一致し、法人の収支及び財産の状況を正しく示していると認める。
- (2) 事業報告書の内容は、真実と認める。
- (3) 理事の職務執行に関する不正な行為、又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はないと認める。

以上

第2号議案

理事の選任に関する件

補欠理事の選任候補者は、以下のとおりである。

(順不同)

○ 新任者

	役職	勤務先・役職	氏名
新任	理事	東急電鉄株式会社・取締役 常務執行役員	佐藤 嘉一
新任	理事	北海道旅客鉄道株式会社・執行役員 鉄道事業本部運輸部長	山北 一郎
新任	理事	東日本旅客旅客鉄道株式会社・新潟支社 鉄道事業部 モビリティ・サービスユニットリーダー	福井 友明
新任	理事	東海旅客鉄道株式会社・東海鉄道事業本部 運輸営業部長	高松 真
新任	理事	西日本旅客鉄道株式会社・理事 鉄道本部 運輸部長	浅井 宏樹
新任	理事	西日本旅客鉄道株式会社・中国統括本部 運輸車両部 部長	越智 律夫
新任	理事	名古屋市交通局・電車部長	安江 秀剛
新任	理事	京王電鉄株式会社・取締役常務執行役員 鉄道事業本部長	番 睦
新任	理事	近畿日本鉄道株式会社・ 取締役 専務執行役員 鉄道本部長兼同本部企画統括部長	深井 滋雄
新任	理事	南海電気鉄道株式会社・常務取締役 鉄道本部長	今中 雄一
新任	理事	株式会社京三製作所・常務執行役員 信号事業部長	村上 洋一
新任	理事	日本信号株式会社・常務執行役員 ICT ソリューション 事業担当兼 R&S 事業部長兼 ND 営業部長	中沢 睦雄

○ 都合による辞任者

	役職	勤務先・役職	氏名
辞任	理事	東急電鉄株式会社・相談役	城石 文明
辞任	理事	北海道旅客鉄道株式会社・執行役員 鉄道事業本部運輸部長	佐藤 一朗
辞任	理事	東日本旅客旅客鉄道株式会社・新潟支社 鉄道事業部 モビリティ・サービスユニットリーダー	佐藤 嗣倫
辞任	理事	東海旅客鉄道株式会社・東海鉄道事業本部 運輸営業部長	山本 茂之
辞任	理事	西日本旅客鉄道株式会社・理事 鉄道本部 運輸部長	岸本 良記
辞任	理事	西日本旅客鉄道株式会社・中国統括本部 運輸車両部 部長	藪上 政樹
辞任	理事	名古屋市交通局・電車部長	福田 弘文
辞任	理事	京王電鉄株式会社・取締役常務執行役員 鉄道事業本部長	井上 晋一
辞任	理事	近畿日本鉄道株式会社・ 取締役常務執行役員 鉄道本部長 兼 同本部企画統括部長	福嶋 博
辞任	理事	南海電気鉄道株式会社・代表取締役社長	梶谷 知志
辞任	理事	株式会社京三製作所・信号事業部 シニアアドバイザー	嶺 孝志
辞任	理事	日本信号株式会社・代表取締役社長	後藤 隆一